

令和４年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」「外部評価」欄  
5：期待を上回って実施している  
4：十分に実施している  
3：実施している  
2：十分には実施していない  
1：実施していない

| 点検項目（指摘等の内容）                                                                                            | 改善内容                                                                                                                                                                                       | 担当                                                | 自己評価 | 次年度改善・見直し予定事項等               | ★自己評価２の項目のみ<br>令和５年度の改善状況           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------|------------------------------|-------------------------------------|
| 基準１ 教育の内部質保証システム                                                                                        |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 観点１－１－③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。                                             |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 自己点検・評価の実施に際して、学校の構成員及び学外関係者から意見を聴取しているものの、それらの結果をどのように自己点検・評価に反映することとしているかが明確とはいえない。                   | 自己点検・評価項目について、令和３年度に制定した規則に基づき学校の構成員から意見聴取を行った。また、学外関係者から、諮問委員会の開催により意見聴取を行った。                                                                                                             | 自己点検・評価委員会<br>（総務課）                               | 3    |                              |                                     |
| 観点１－１－④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けようとする組織としての体制が整備され、機能しているか                                     |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 前回の機関別認証評価で指摘された改善を要する点のうち、「教育の目的に照らして、準学士課程の教育課程が体系的に編成されていることに関して、学生に解りにくい点がある。」に対して、その改善が十分に図られていない。 | Webシラバスシステムにおいて、教育目標に対応したカリキュラムマップが表示される機能が追加された。<br>カリキュラムポリシーに基づく教育課程が体系的に編成されていることが分かり易いカリキュラムマップを作成した。                                                                                 | 教務委員会<br>（教務係）                                    | 3    |                              |                                     |
| 観点１－２－③ 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。                                        |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）において、入学選抜の基本方針の明示に、一部不十分な点がある。                                         | ホームページにおいて、編入学生のアドミッション・ポリシーを公表し、学内外に向けて明示した。                                                                                                                                              | 教務委員会<br>（教務係）                                    | 4    |                              |                                     |
| 基準２ 教育組織及び教員・教育支援者等                                                                                     |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 観点２－３－① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。                                                |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 教員に対して、教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等を行う取組が十分とはいえない。                            | 令和３年度に制定した評価制度に基づいて教員の評価を行い、その結果を給与や昇任人事評価等に反映した。                                                                                                                                          | 企画会議<br>（総務課）                                     | 3    |                              |                                     |
| 観点２－４－① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。          |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| FDとして実施されている取組が教育の質の向上や授業の改善につながっていることを学校として分析・評価する取組は十分とはいえない。                                         | 授業評価の結果に基づき、一定の基準を満たしていない教員については、模範となる教員等の授業の参観を実施した。                                                                                                                                      | FD・SD推進委員会<br>（教務委員会・教務係）                         | 3    |                              |                                     |
| 基準３ 学習環境及び学生支援等                                                                                         |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 観点３－１－① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。                             |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し、改善するための体制の整備が十分とはいえない。                                                       | 昨年構築された体制を活用し、学生面談を実施し、学生から出た意見について各学科および委員会改善・対応方法を検討し、改善・対応案について運営委員会および学科会議で共有した。<br>男女共同参画室による学生と教員へのアンケート及び後援会によるアンケートに基づき、令和４年度第７回施設マネジメント委員会（令和５年１月２５日実施）により、トイレ整備を計画的に実施することとしている。 | 施設マネジメント委員会<br>（学生：厚生補導委員会<br>寮生：学寮委員会<br>全体：施設係） | 3    |                              |                                     |
| 観点３－１－② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したＩＣＴ環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。                                     |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 学生や教職員のＩＣＴ環境の利用状況や満足度等を学校として把握し、改善するための体制の整備が十分とはいえない。                                                  | 対面やMicrosoft Formsによる意見収集の適切な手順と手段について検討した。                                                                                                                                                | メディアセンター委員会<br>（学生：教務係<br>教職員：総務・企画係）             | 2    | Microsoft Formsによる意見収集を実行する。 | 令和５年１２月までにMicrosoft Formsにより意見収集予定。 |
| 観点３－２－③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。                           |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 【口頭指摘事項】<br>特別な支援が必要と考えられる学生の学習支援及び生活支援等について、対応する組織の体制が規定等で明文化されていない。                                   | R2年度に、学生支援等に関わる組織を包括した「学生支援センター」の設置を規則で定め、学級担任等からの情報を基に、必要となる学習環境の調整や生活支援計画を策定するなど、総括的な対応を行う体制を整備し、学生面談で得られた情報をもとに各委員会で検討し支援を行うことができた。また、要配慮学生に対する配慮および支援に対する実施体制を整備し、令和５年度からの運用を進めている。    | 学生支援センター<br>（学生係）                                 | 4    |                              |                                     |
| 基準５ 準学士課程の教育課程・教育方法                                                                                     |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 観点５－１－① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。                         |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目を体系的に配置していることが明確とはいえない。                                          | カリキュラムポリシーに基づく教育課程が体系的に編成されていることが分かり易いカリキュラムマップを作成した。                                                                                                                                      | 教務委員会<br>（教務係）                                    | 3    |                              |                                     |
| 観点５－２－② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。                                    |                                                                                                                                                                                            |                                                   |      |                              |                                     |
| 教員及び学生のシラバスの活用状況を組織的に把握し、その把握した状況を基に改善を行う体制が整備されていない。                                                   | 教員用「授業点検シート」と学生用「授業アンケート」を利用してシラバスの活用状況等を分析し、改善を進めた。                                                                                                                                       | 教務委員会<br>（教務係）                                    | 3    |                              |                                     |

令和４年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」「外部評価」欄  
5：期待を上回って実施している  
4：十分に実施している  
3：実施している  
2：十分には実施していない  
1：実施していない

| 点検項目（指摘等の内容）                                                                                                         | 改善内容                                                                                                                                                                                                              | 担当          | 自己評価 | 次年度改善・見直し予定事項等 | ★自己評価２の項目のみ<br>令和５年度の改善状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----------------|---------------------------|
| 観点５-３-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。              |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づいた単位認定に関する基準を定めた規則等が整備されていない。                                                       | 令和２年度に規則改正を行い、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき単位認定を行った。                                                                                                                                                         | 教務委員会（教務係）  | 4    |                |                           |
| 成績評価や単位認定の基準に関する学生の認知状況を学校として把握する取組は、十分とはいえない。                                                                       | 成績評価や単位認定の基準を掲載した「学生便覧」を学生に配付したうえで、学生に対し、毎年度初めに「成績評価、修了に必要な要件等に関する認識調査」を実施し、理解状況を把握した。                                                                                                                            | 教務委員会（教務係）  | 3    |                |                           |
| 成績評価の客観性・厳格性を担保するための組織的な措置として、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックに関する取組は、十分とはいえない。 | 「授業点検シート」様式を作成のうえ、授業科目ごとに各教員から提出させることとし、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックを行い、問題がないことを確認した。                                                                                    | 教務委員会（教務係）  | 3    |                |                           |
| 一部の授業科目において、成績評価資料が適切に保管されていない。                                                                                      | 成績提出期ごとに成績評価資料を提出するよう、各教員に依頼・周知した。また、各教員からの提出状況について、教務委員会でチェックした。                                                                                                                                                 | 教務委員会（教務係）  | 3    |                |                           |
| 一部の授業科目において、シラバスどおりの成績評価が行われていない。                                                                                    | 統一の「成績算出シート」様式を作成し、当該様式に基づき成績根拠を示した。また、科目を抽出して教員が相互にチェックを行ったうえで成績提出を行った。学修単位科目では、評価方法が教員毎にまちまちになっているなどの現状の問題を分析し、学修単位科目における自学自習について、シラバス上の「授業の進め方と授業内容・方法」及び「評価割合」欄に自学自習を課すこと及びその評価方法・割合を明記し、「授業点検シート」による報告で確認した。 | 教務委員会（教務係）  | 3    |                |                           |
| 観点５-３-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。                               |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 卒業認定基準について、学生の認知状況を学校として把握・確認する取組は十分とはいえない。                                                                          | 卒業認定の基準を掲載した「学生便覧」を学生に配付したうえで、毎年度初めに「成績評価、修了に必要な要件等に関する認識調査」を実施し、理解状況を把握した。                                                                                                                                       | 教務委員会（教務係）  | 3    |                |                           |
| 基準７ 準学士課程の学習・教育の成果                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 観点７-１-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。                          |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 【口頭指摘事項】卒業時の学生及び卒業生に対する「達成度アンケート」等において、文章作成、口頭発表等が身につけていないとする回答が多く、特に英語などによるコミュニケーション能力に関して、否定的な回答が多くなっている。          | 第３学年で文書作成等の学習内容を増やした授業科目「思考と表現」を設けている。                                                                                                                                                                            | 教務委員会（教務係）  | 3    |                |                           |
| 基準８ 専攻科課程の教育活動の状況                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 観点８-１-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。                                           |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目を体系的に配置していることが明確とはいえない。                                                       | 教育課程が体系的に編成されていることが分かるカリキュラムマップを作成しホームページにて公開している。                                                                                                                                                                | 専攻科委員会（教務係） | 3    |                |                           |
| 観点８-１-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。              |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |
| 成績評価や単位認定の基準に関する学生の認知状況を学校として把握する取組は、十分とはいえない。                                                                       | 成績評価や単位認定、修了要件に関してガイダンスを行ったうえで、Formsにて学生対象の認識調査を行い、理解していることを確認した。                                                                                                                                                 | 専攻科委員会（教務係） | 3    |                |                           |
| 成績評価の客観性・厳格性を担保するための組織的な措置として、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックに関する取組は、十分とはいえない。 | 専攻科委員会において、より到達度が明確となる方法で成績評価が行われるよう見直しを行い、新たに専攻科科目の質の保証とその評価に関する方針を定めた。また、シラバスへの明記と適切な評価について教員に周知を行い、シラバス通りに評価していることを確認した。                                                                                       | 専攻科委員会（教務係） | 4    |                |                           |
| 一部の授業科目において、成績評価資料が適切に保管されていない。                                                                                      | 成績評価にかかる資料の提出状況を専攻科委員会で点検し、確実な提出を求めた。                                                                                                                                                                             | 専攻科委員会（教務係） | 3    |                |                           |
| 一部の授業科目において、シラバスに成績評価基準が示されていない。                                                                                     | 専攻科科目の質の保証とその評価に関する方針を定め、その方針に従った明確な到達度と評価方法の記載について周知徹底した。                                                                                                                                                        | 専攻科委員会（教務係） | 3    |                |                           |
| 観点８-２-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。                         |                                                                                                                                                                                                                   |             |      |                |                           |

令和4年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」「外部評価」欄  
5：期待を上回って実施している  
4：十分に実施している  
3：実施している  
2：十分には実施していない  
1：実施していない

| 点検項目（指摘等の内容）                                                                           | 改善内容                                                                     | 担当              | 自己評価 | 次年度改善・<br>見直し予定事項等 | ★自己評価2の項目のみ<br>令和5年度の改善状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------|------|--------------------|---------------------------|
| 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組及びその結果を入学者選抜の改善に役立てる取組が十分とはいえない。 | 入学者選抜において、本校のアドミッションポリシーに合致しているかどうかを志望理由書で確認できるようにし、入試において評価基準に従い評価を行った。 | 専攻科委員会<br>（教務係） | 4    |                    |                           |

令和４年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」「外部評価」欄  
5：期待を上回って実施している  
4：十分に実施している  
3：実施している  
2：十分には実施していない  
1：実施していない

| 点検項目（指摘等の内容）                                                                                   | 改善内容                                                                   | 担当                   | 自己評価 | 次年度改善・見直し予定事項等 | ★自己評価2の項目のみ<br>令和5年度の改善状況 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------|------|----------------|---------------------------|
| 観点8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。 |                                                                        |                      |      |                |                           |
| 修了認定基準について、学生の認知状況を学校として把握・確認する取組は十分とはいえない。                                                    | 成績評価や単位認定、修了要件に関してガイダンスを行ったうえで、Formsにて学生対象の認識調査を行い、理解していることを確認した。      | 専攻科委員会<br>（教務係）      | 3    |                |                           |
| 選択的評価事項A 研究活動の状況                                                                               |                                                                        |                      |      |                |                           |
| 観点A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。                                                       |                                                                        |                      |      |                |                           |
| 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を学校として明確に定めているとはいえない。                                                       | 「和歌山工業高等専門学校の研究活動に関する目的、基本方針及び目標」に基づき研究活動を行うとともに、広報誌を活用して学内外に周知した。     | 地域共同センター<br>（総務・企画係） | 4    |                |                           |
| 選択的評価事項A 研究活動の状況                                                                               |                                                                        |                      |      |                |                           |
| 観点B-1-① 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。                                                    |                                                                        |                      |      |                |                           |
| 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を学校として明確に定めているとはいえない。                                                    | 「和歌山工業高等専門学校の地域貢献活動に関する目的、基本方針及び目標」に基づき地域貢献活動を行うとともに、広報誌を活用して学内外に周知した。 | 地域共同センター<br>（総務・企画係） | 4    |                |                           |